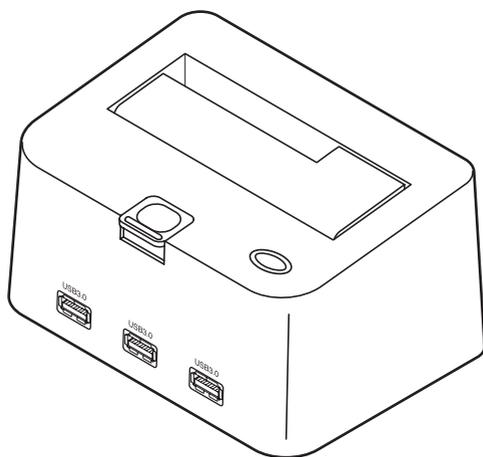


裸族のお立ち台USB3.0 Hubプラス

CROSU3H 取扱説明書



【はじめに】

このたびはCROSU3Hをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用の前に本取扱説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意<必ず守っていただくようお願いいたします>】

- ・ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。



警告

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。



注意

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害のない物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

⚠ 警告

■煙が出る、異臭がする、異音ができる

煙が出る、異臭がする、異音ができるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。

点検及び修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の内部に異物や水を入れない

筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■湿気や水気のある場所では使用しない

台所や風呂場等の、湿気や水気のある場所では使用しないでください。機器の故障や、火災の原因となります。

■不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■電源の指定許容範囲を守る

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■電源コード、接続コードの取扱いについて

電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

■雷が鳴り出したら電源コードに触れない

感電したり火災の原因となります。

■ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

■設置場所に関する注意事項

以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。

- ・熱、暖房器具（ストーブ、アイロン、ヒーター等）の近く。
- ・油煙や湯気のある調理台、加湿器等湿気の近く等ほこりや湿気の多い場所。
- ・直射日光のあたる場所。

■長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

■小さいお子様を近づけない

お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。怪我等の原因になることがあります。

■静電気にご注意ください

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■ もくじ

■ はじめに	i
■ 安全上のご注意	i
■ 制限事項	1
■ ご使用の前に	1
■ 製品仕様	2
■ 製品内容	2
■ 各部の名称	2
■ 対応HDD/SSD	3
■ 対応機種	3
■ 対応OS	3
■ HDD/SSDの取り付け方法	4
■ HDD/SSDの取り外し方法	6
■ PCとの接続方法	7
■ 電源の投入方法	8
■ USBハブ利用の際のご注意	9
■ 領域の確保とフォーマット	11
・ Windows 7、Windows Vistaの場合	11
・ Windows XPの場合	17
■ ハードウェアの取り外しについて	21
■ Macでの使用方法	23
■トラブルシューティング	25
■ FAQ	26
■ サポートのご案内	27

【制限事項】

- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- ・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- ・本製品は2.5/3.5インチシリアルATA HDD/SSD専用です。パラレルATA（IDE）は使用できません。

【ご使用前に】

- ・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただけますようお願いいたします。
- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・MacはApple Inc.の登録商標です。
- ・WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。
- ・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

本製品はHDD/SSD等のSATA機器をむき出しのままPCに接続するための製品です。

本来、ケースなどに内蔵して使用するSATA機器を露出したまま通電させることとなりますので、感電等の事故、及びSATA機器へのほこりや水分等の付着には十分ご注意ください。

また、静電気も機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用いて、故障の防止に努めてください。

【製品仕様】

型番：CROSU3H
商品名：裸族のお立ち台USB3.0 Hubプラス
インターフェイス：USB 3.0
USBコネクタ形状：Standard Bタイプ
寸法：幅134 mm × 高さ68 mm × 奥行94 mm（突起部含まず）
重量：約546g（ドライブ含まず）
温度、湿度：温度5～35℃、湿度20～80%（結露なきこと、接続するPCの動作範囲内であること）
ACアダプター仕様：入力…100V～240V 1.5A / 出力…12V 3A

〈USB3.0ハブ仕様〉

インターフェイス：USB3.0×3ポート セルフパワータイプ

インターフェイス形状：Standard Aタイプ

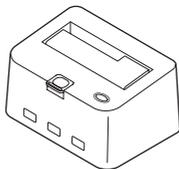
供給電流：3ポート合計 1800mA 以内

※本製品の電源はHDD部分とハブ部分で共通になっているため、消費電力の高いデバイスを接続する場合はHDDを取り外してハブ部分のみを使用することをおすすめします。

【製品内容】

- ・ CROSU3H 本体
- ・ 専用ACアダプター × 1
- ・ 専用ACケーブル × 1
- ・ 専用USB3.0ケーブル × 1
- Standard A - Standard Bタイプ
- ・ 取扱説明書/保証書

※本製品にHDDは含まれておりません。



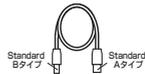
CROSU3H 本体



専用ACアダプター



専用ACケーブル



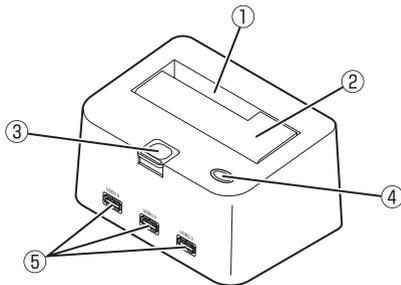
専用USB3.0ケーブル



取扱説明書/保証書

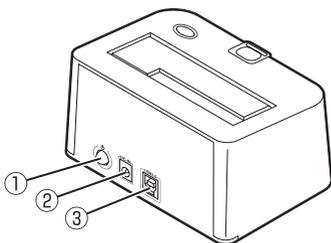
【各部の名称】

〈前面〉



- ① 2.5" HDD/SSD用切り欠き
- ② HDD差し込み口
- ③ ドライブ取り出し補助ボタン
- ④ パワー / アクセスLED
 - ・ パワー LED（青色に点灯）
 - ・ アクセスLED（ディスクアクセス時、赤色に点滅）
- ⑤ USB3.0ハブ

〈背面〉



- ① 電源スイッチ
- ② 電源コネクタ
- ③ USB3.0コネクタ

【対応HDD/SSD】

<HDD>

■ シリアルATA (SATA I / II) 仕様の2.5インチ/3.5インチHDD

※IDE (PATA) 仕様のHDDは接続できません。

また、PATA→SATA変換アダプターを使用しての接続は動作保証外とさせていただきます。

<SSD>

■ MLCタイプの5V駆動2.5インチSATA SSD

※1.8インチ、ZIFコネクタ、3.3V駆動および特殊形状 (ASUS EeePC内蔵のSSD等) のSSDは接続できません。

また、SLCタイプのSSDにつきましては動作保証外とさせていただきます。

【対応機種】

■ USB接続

—Windows—

- ・USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB3.0モード動作時)
- ・USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機 (USB2.0モード動作時)
- ・CPUクロック 2GHz / メインメモリ 1GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨

※sis7000/7001/7002.PCI to USB Host Controller

搭載PCは、USB Host Controllerの問題で正常に動作しない可能性があります。

■ 動作確認済み USB3.0ホストインターフェイス

- ・ センチュリー : C1F-USB3P2
- ・ バッファロー : IFC-PCIE2U3
- ・ ラトックシステム : REX-PEU3

※USB3.0で接続する場合は、USB3.0ホストインターフェイスが必要になります。従来のUSB2.0ホストにも接続できますが、その場合の転送速度の上限はUSB2.0 (480Mbps) になります。

—Mac—

- ・USB2.0インターフェイスポートを搭載したMacPro、iMac、Macbook、MacBook Pro

※PowerPC搭載のMacintoshは動作保証外になります。

※Macで使用する場合はUSB2.0 (480Mbps) での接続になります。(2010年3月時点)

【対応OS】

■ Windows

- ・ Windows 7 (32bit/64bit) / Windows Vista (32bit/64bit) / Windows XP (32bit SP3)

※Windows 95/Windows 98/Windows 98SE/Windows 3.x/Windows NT/Windows Me/Windows 2000では動作しません。

■ Mac

- ・ Mac OS 10.5.8、10.6.2 (2010年3月時点)

※製品の性質上、全ての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

SATA HDD/SSDの取り扱いについて

HDD/SSDの保護のために、未使用時は本製品からHDD/SSDを取り外して保管してください。

SATA HDD/SSDの接続コネクタにはメーカーの推奨するHDD/SSDの着脱保証回数が設定されており、この回数を超えるとHDD/SSDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

【HDD/SSDの取り付け方法】

■HDD/SSD接続の前に

- ・HDD/SSDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- ・HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

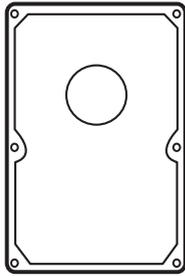
※注意

既にデータの入っているHDD/SSDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。

⚠警告

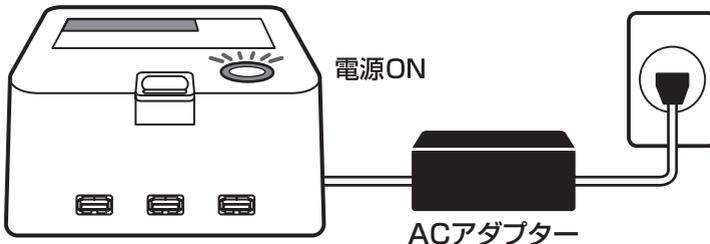
■接続及び電源投入の順序にご注意ください！！

- ・本製品はまずHDD/SSDを接続後、電源を投入して認識する仕様となっております。
- ・本製品のみの接続、または電源投入後の抜き差し（ホットスワップ）には対応しておりません。
上記のような接続及び電源投入を行うと、データの破損や本製品または接続したHDD/SSDの故障をまねく可能性がございます。



電源を入れたままでの

- ・HDDの取り付け
 - ・SSDの取り外し
- はできません！



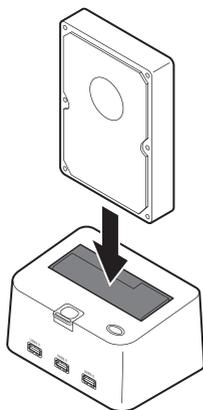
【HDD/SSDの取り付け方法】

※本製品はシリアルATA (SATA) HDD/SSD専用です。パラレルATA (PATA) は接続できません。

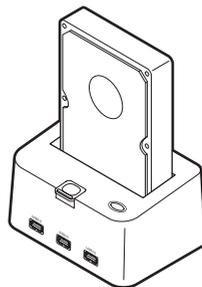


■3.5" HDDの取り付け方法

HDDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で「CROSU3H」のHDD/SSD差し込み口にゆっくり差し込みます。

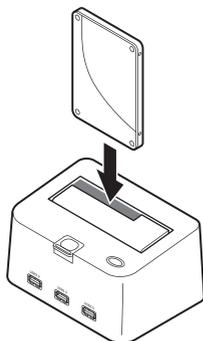


〈完成図〉

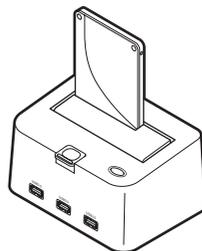


■2.5" HDD/SSDの取り付け方法

HDD/SSDのコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で「CROSU3H」のHDD/SSD差し込み口にゆっくり差し込みます。



〈完成図〉



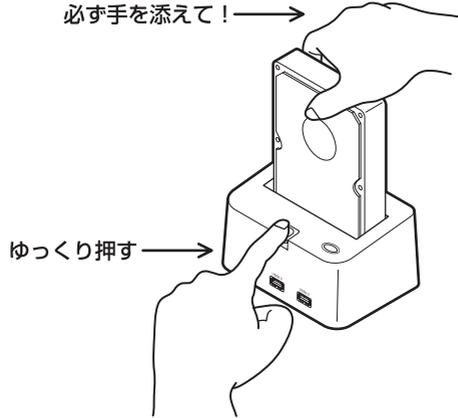
■注意！

HDD/SSDを装着する際には、HDD/SSDの向きとSATAコネクタの位置に注意してゆっくり差し込んでください。力まかせに押し込むと破損や故障の原因となります。

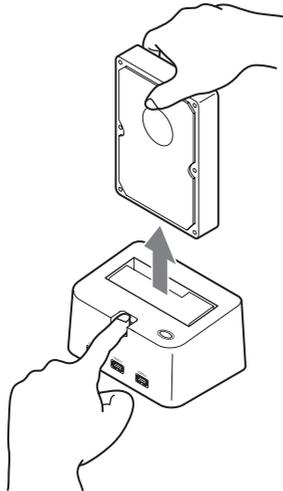
【HDD/SSDの取り外し方法】

※本製品はSATA HDD/SSDのホットスワップには対応しておりません。
HDD/SSDを取り外す際は、必ず電源をOFFにしてから行うようにしてください。

1：HDD（またはSSD）に手を添えながら、HDD/SSD取り出し補助ボタンをゆっくり押します。



2：HDD/SSD取り出し補助ボタンを押すとHDD（またはSSD）がせり出てきますので、ゆっくり垂直にHDDを取り外します。

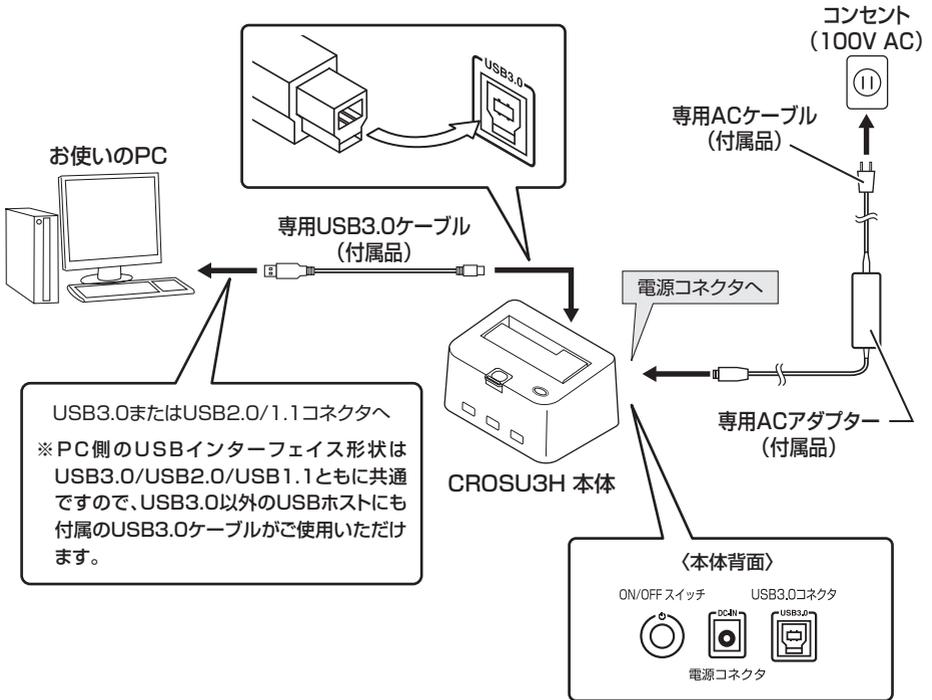


■注意！

HDD/SSDを取り外す際には、必ずHDD/SSDに手を添えて行ってください。
手を添えずに取り外しを行うと、HDD/SSDのコネクタを破損するおそれがあります。

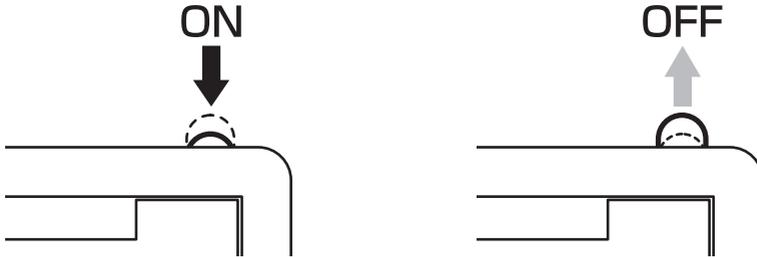
【PCとの接続方法】

本製品をコンセント電源とお使いのPCに接続すれば、使用の準備は完了です。



【電源の投入方法】

電源スイッチは押しボタン式です。突出した状態から一度押してON、2度押せば元に戻りOFFになります。必ず各ケーブルを接続する前に“OFF”になっていることをご確認ください。



裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDDや内蔵用SSDをケースに入れず、剥き出し＝裸のまま手軽に使用することを想定して作られています。しかし、内蔵用HDDや内蔵用SSDは本来とてもデリケートな精密機器です。

特に静電気やホコりに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDD/SSDを取り扱うようお願いいたします。

また、HDD/SSDを保管する時は高温多湿を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願いいたします。

デリケートな
裸族を
守るの啦!



【USBハブ利用の際のご注意】

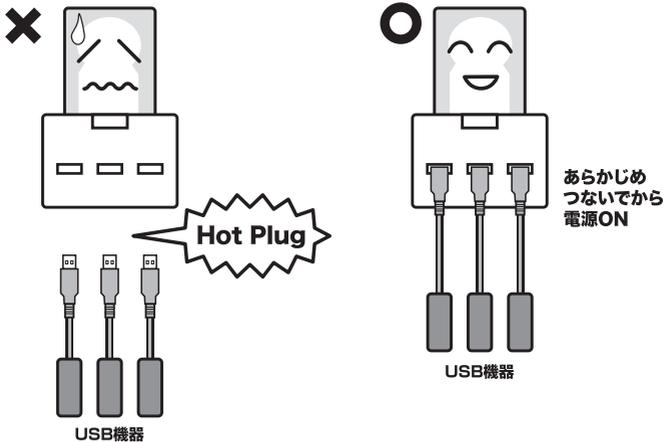
本製品のUSBハブは電源部をHDDと共用しておりますので、ホットプラグする際や取り外しを行う場合には注意が必要です。

ご利用の前には以下の注意および制限事項を必ずご確認ください。

■大きな電力を使用するUSBデバイス（USB・HDD等）はホットプラグしない

お使いのHDDや環境にもよりますが、大きな電力を使用するUSBデバイスをホットプラグすると、一時的に電力がUSBデバイスに取られ、本製品にクレードル接続したHDDへの電力が弱まってしまう場合があります。結果として、クレードル接続したHDDの回転が停止したり、エラーが発生する等の症状が発生する可能性があります。

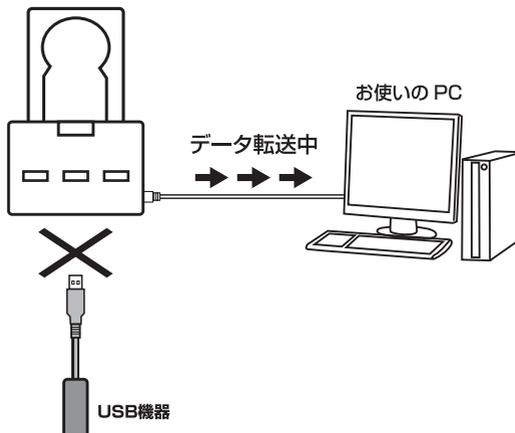
このような場合は、本製品の電源を入れる前にあらかじめ接続しておいてください。



■データの転送中にUSB機器の抜き差しをしない

クレードル接続したHDDも、内部ではUSBハブのひとつに接続されております。このため、データの転送中にUSBハブの機器の抜き差しが発生すると、転送エラー等が発生する可能性があります。

データの転送中にはUSB機器の抜き差しを行わないでください。



■機器の制限

USBデバイスによっては、USBハブ経由からの接続を推奨していない、あるいは動作保証していない製品がございます。

本製品のハブも、全てのUSB機器の動作を保証するものではありません。

■USBコネクタ取り扱いの注意

USBコネクタの抜き差しは、必ずコネクタ部を持って抜き差しを行ってください。ケーブル部を持って抜き差しを行わないでください。ケーブル自体の断線、および本製品や接続したUSB機器、クレードル接続したHDDの故障や破損を招く可能性があります。

■セルフパワー動作

本製品のUSBハブ部分はセルフパワー（付属のACアダプターからの電力で動作）USBハブです。PCから供給されるバスパワーでは動作しません。ACアダプターを接続する必要があります。

【領域の確保とフォーマット】

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。
細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

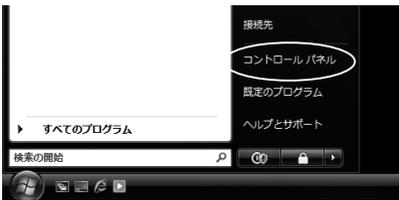
※この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。
消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

□Windows 7、Windows Vistaの場合

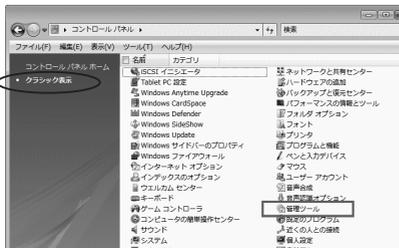
1.



【コントロールパネル】 → 【表示方法：小さいアイコン】 → 【管理ツール】
(Windows 7)



【コントロールパネル】 → 【クラシック表示】 → 【管理ツール】 (Windows Vista)



※コントロールパネルを開いても【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制限】ウィンドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。

続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。

システムの管理者にご相談ください。

3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

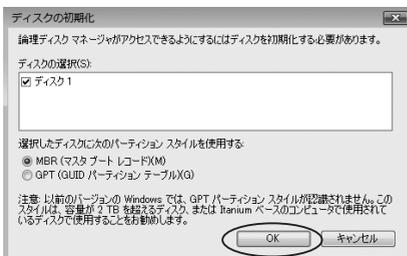
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

ディスクの初期化(I)

プロパティ(P)

ヘルプ(H)

4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いのないかを確認して【OK】をクリックします。

※パーティションスタイルについて

パーティションスタイルに関しては2TB以上の容量を扱う場合以外は、MBR形式を使用することをおすすめします。

GPT形式は、Windows 2000やWindows XP等では読み書きすることができません。また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。

【領域の確保とフォーマット】

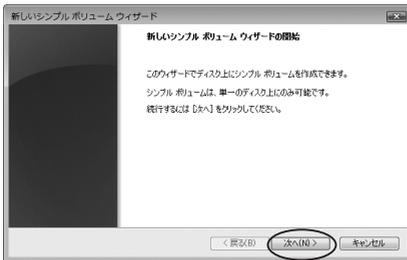
5.



【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

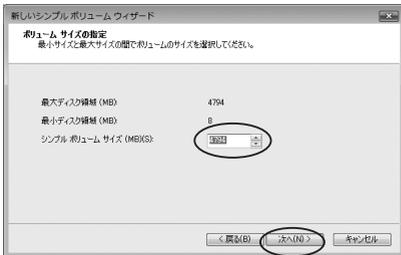
ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.



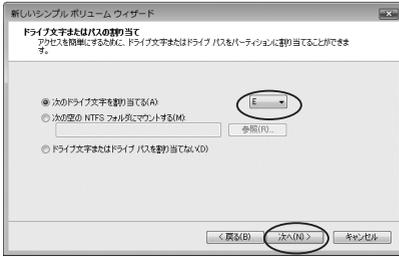
【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。MB (メガバイト) 単位でボリュームサイズを指定します。ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。特に指定しなければ最大容量で設定されます。設定したら【次へ】をクリックします。

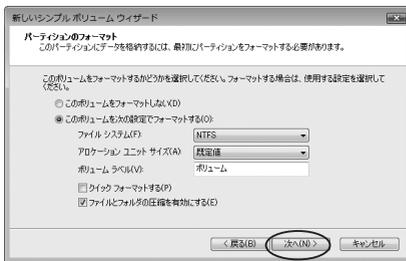
8.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】 ウィンドウが表示されます。
ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。
こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

9.



【パーティションのフォーマット】 ウィンドウが表示されます。

- ・ファイルシステム

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

- ・アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値で問題ありません。

- ・ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

- ・クイックフォーマットする

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

- ・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

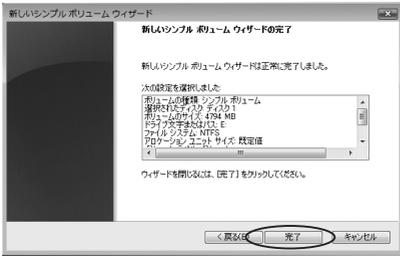
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

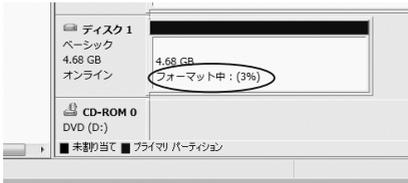
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

11.



これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

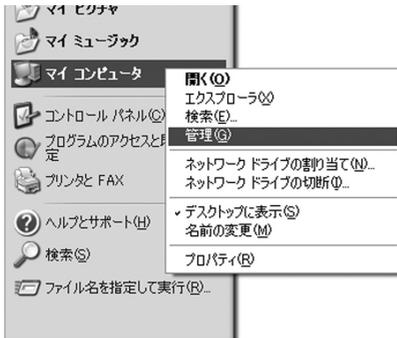
フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。

【領域の確保とフォーマット】

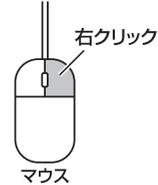
□Windows XPの場合

注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインして行ってください。

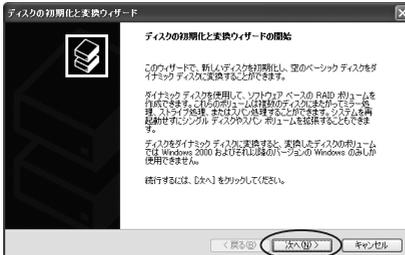
1.



スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。

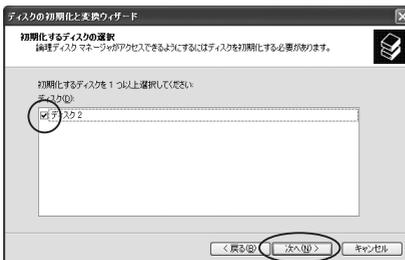


2.



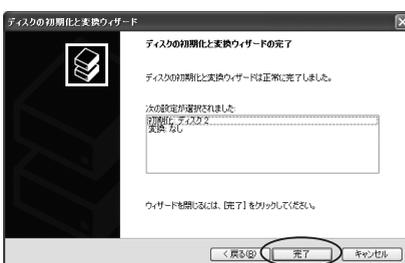
「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

3.



「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

4.



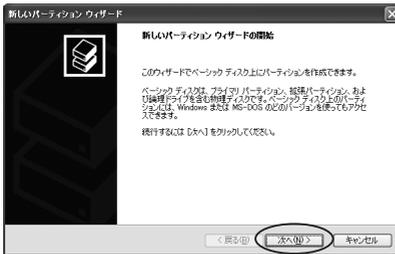
「ディスクのアップグレードと署名ウィザード完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

5.



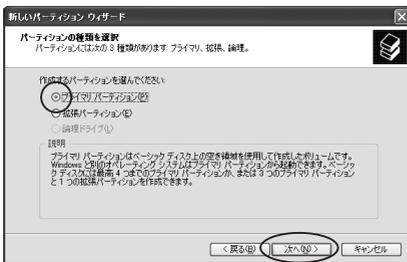
次にパーティションの作成を行います。「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成(P)...」を選択します。

6.



「パーティション作成ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

7.



「パーティションの種類を選択」ウィンドウが表示されます。「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。
※1つのディスクを5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

8.

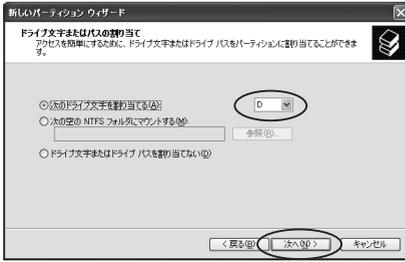


「パーティションサイズの指定」ウィンドウが表示されます。「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」を繰り返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。

【領域の確保とフォーマット】

9.



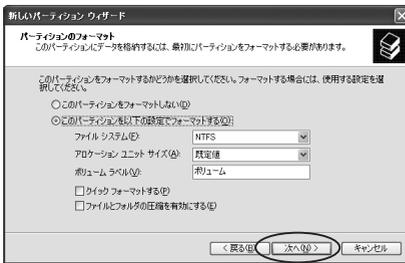
【ドライブ文字またはパスの割り当て】 ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

10.



「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

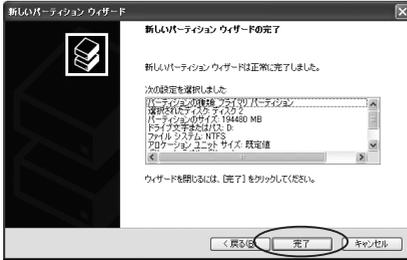
- ・使用するファイルシステム
NTFSとFAT32が選択可能です。

※Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

- ・アロケーションユニットサイズ
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。
- ・ボリュームラベル
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。
- ・クイックフォーマットする
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
- ・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。
ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様のファイルの読み書き速度の低下を招くようです。
詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

すべて設定して「次へ」をクリックします。

11.



「パーティション作成ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックして閉じます。

12.



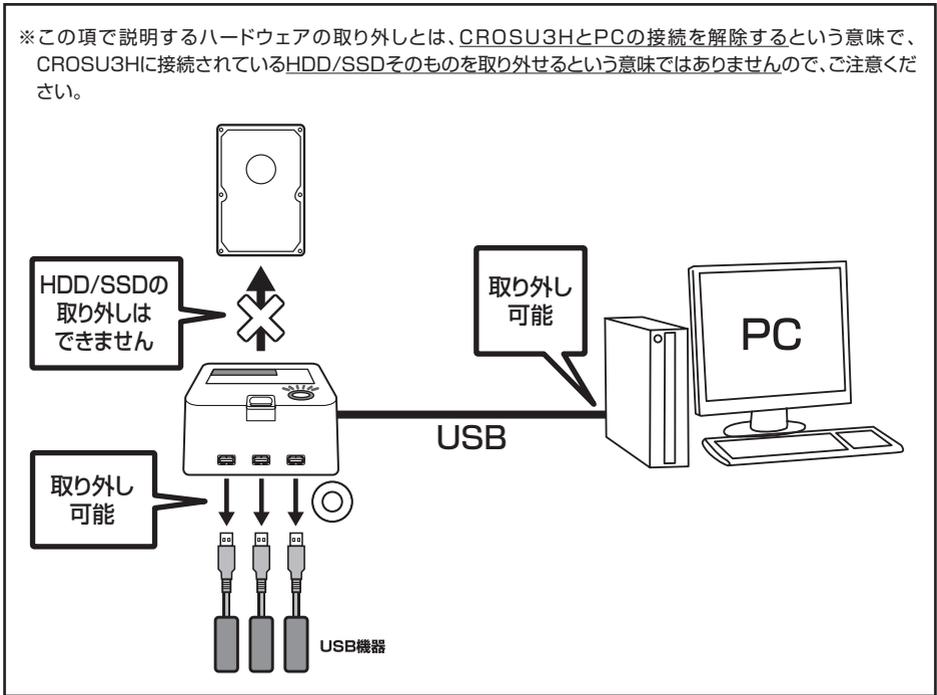
フォーマットが開始されます。「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行っててください。



フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。フォーマット中は、コンピュータや本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります

【ハードウェアの取り外しについて】

本製品とPC、または本製品のUSBハブに接続したUSBデバイスは、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。



■ 本製品をPCから取り外す場合

1. 本製品をPCと接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。取り外す際は「ハードウェアの取り外し」をアイコンをクリックします。デバイス名はご使用のOSによって異なります。

- Windows XP : 「USB大容量記憶装置デバイス」
- Windows Vista : 「USB大容量記憶装置」
- Windows 7 : 「USB大容量記憶装置」

2. 取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。
電源を切ってケーブルを取り外してください。

■ 本製品のUSBハブに接続したUSBデバイスを取り外す場合

接続したUSBデバイスの種類によって、ハードウェアの取り外し手順が必要な場合がありますので、お使いのUSBデバイスの取扱説明書をご確認の上、ハードウェアの取り外しを行ってください。

⚠ 注意

「ハードウェアの取り外し」手順を経ずに本製品またはUSBデバイスを取り外すと、本製品に接続したHDDやUSBデバイスが破損したり、データが消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」処理を行ってください。

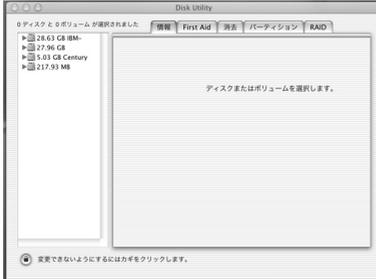
【Macでの使用方法】

MacOS XではMacOS標準のドライバを使用します。

※あらかじめMacOS9.xで初期化された物は、フォーマットせずに使用可能です。

MacOS XでのフォーマットはOS標準の「Disk Utility」を使用します。

1.



「Disk Utility」を起動します。

※「Disk Utility」は、アプリケーション>Utilityの中にあります。

左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。

<裸族のお立ち台USB3.0 Hubプラス>は、「xx GB Century」と表示されます。

(xxは接続したHDDの容量)

これをクリックして選択します。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。パーティション設定を変更できます。

ボリュームの方式

：作成するボリューム数を選択します。

8つまで分割して作成することが可能です。

ボリューム

：メディアの分割状況が表示されます。

ボリューム情報

：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。

名前

：作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

フォーマット

：作成するボリュームのフォーマットを選択します。MacOS標準、MacOS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。通常はMacOS標準かMacOS拡張を選択してください。

サイズ

：作成するボリュームのサイズを変更できます。

オプション

：MacOS9ディスクドライバをインストールチェックをすると、MacOS9で動作するドライバをインストールします。

分割

：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

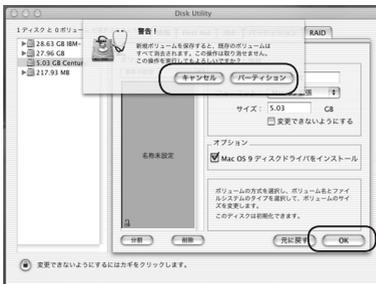
削除

：選択されているボリュームを削除します。

元に戻す

：直前の変更を元に戻します。

4.



全て決定したら右下の「OK」をクリックします。警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

5.



パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われる場合は、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

以下をお試しください。

- ・HDD/SSDが正常に差し込まれているか確認する。
- ・接続ケーブル、ACアダプターを確認する。
- ・接続LEDが点灯しているか確認する。
- ・USB3.0ホストが正常に動作しているか確認する。

■CROSU3HからOSが起動しない

OS起動はサポートしておりません。

■接続LEDが点灯してもHDDが回転している音がしない

配線が正しく接続されているかご確認ください。また、付属されたもの以外のケーブルを使用されますと、故障や事故の原因となります。必ず付属のケーブルをご使用ください。

■転送速度が遅い

USB2.0ホストに接続した場合、転送速度は最大で480Mbps（理論値）となります。

USB1.1ホストに接続した場合は12Mbps（理論値）となるため、高速な転送は行えません。あらかじめご了承ください。

■USB接続時にUSB2.0として認識してしまう

CROSU3Hの電源をONにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。

CROSU3Hの電源はOFFの状態でご各ケーブルを接続し、電源スイッチをONにしてください。

【FAQ】

Q：使用できるHDDの最大容量は？

A：2TB（テラバイト）までとなります。

Q：着脱可能回数は何回ですか？

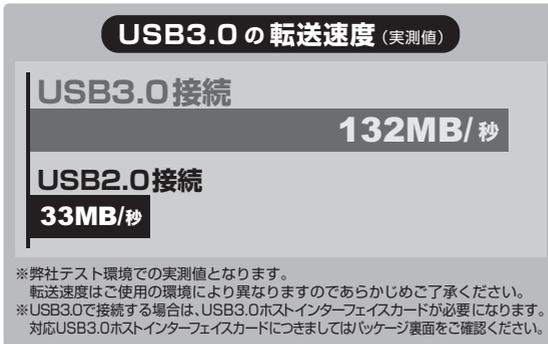
A：本製品に装備されているSATAコネクタの耐久性は約10000回となっております。

HDD/SSD側のSATAコネクタにもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDD/SSDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q：USB3.0接続時の実際の転送速度は？

A：USB3.0は理論値で5Gbpsと非常に高速ですが、CPUやUSB3.0ホストの性能によって実測値は変わってきます。弊社テスト環境での実測値は下図になります。

<裸族のお立ち台USB3.0 Hubプラスの転送速度（実測値）>



ーテスト環境ー

- CPU : Intel Core2Duo E7500 2.93GHz
- メモリ : 2GB
- マザーボード : GIGABYTE製 EG45M-UD2H
- OS : Windows 7
- 使用HDD : 日立GST HDS721010 (1TB)
- USB3.0ホスト : センチュリー CIF-USB3P2
- ベンチマークソフト : CrystalDiskMark 2.2

【サポートのご案内】

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市十^{とよ}余^{ふたおき}二^{なはら}翁原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】<http://www.century.co.jp>

【Mail】support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。
どうぞよろしく願いいたします。

～弊社商品につきますでのアンケート～

【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチリーおよびセンチリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.